



SSHレターズ

長崎県立大村高等学校
～自ら気づき、考え、行動する～

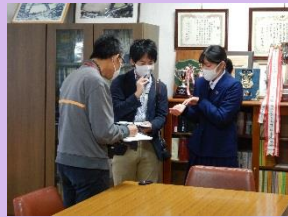
1 巻/31号 2020/12/17

◆文部科学大臣賞受賞！！

11月8日（日）に行われた国際科学コンテスト「第3回グローバルサイエンティストアワード“夢の翼”」にて本校理科部2年の本村 かな さんの『落ち葉の秘密』が文部科学大臣賞（最優秀賞）を受賞しました。

主催者を代表して授与式に来校頂いた池田学園理事長の池田 由實 様からは「身近な現象に注目した点」「探究が論理的に進められていた点」「語りかけるようなすばらしいプレゼンだった点」が高く評価されたというお話を頂きました。

たった1人での研究で途中で投げ出したくなることもあったとのことですが、持ち前のバイタリティで粘り強く研究を続けました。これからは裏向きが多い意味についての新たな仮説を検証していきたいという抱負を述べてくれました。今後が楽しみです。



◆放射線セミナー（2年家政科）

12月4日（金）、九州大学より池田 伸夫 教授をお招きし放射線セミナーを開催しました。

これは、放射線についての講義と実習を通じ放射線について正しく理解し、科学的根拠に基づいて適切な判断・行動をするための科学リテラシーを高めるために実施したものです。

講義に続き身の回りの放射線を測定し、身近な放射線についての理解を深めました。

セミナーの最後に放射線についての知識を問う問題に取り組みました。セミナー前後の比較から、今回のセミナーが放射線について正しい理解をもたらしたことが伺えました。



質問項目	正解率	
	事前	事後
放射線は衣服を通過するのだから、原発事故の際にマスクや手袋をして外出しても効果はない。	31%	47%
人為的に放射線をあてたジャガイモを食べても、そのことによる放射線被ばくはない。	17%	69%

◆繊維と染色の科学（1年家政科）

12月14日（月）、活水女子大学より 寺田 貴子 先生をお招きし、「繊維と染色の科学」講座を開催しました。

これは、講義と実習を通じて「繊維」と「染色」について、科学的かつ実感を伴った理解の獲得を目的として実施したものです。家政科の「染色体験実習」と連携することで、2日後に行われる相互に補充しあい、学習効果が一層高まるようにしました。

当日は、繊維の種類や添加する金属による染色や発色の違いについて、理論と実験の両面から理解することができ、非常に実施効果の高い講座となりました。



	繊維と染色について	
	興味関心	科学的な理解
非常に高まった	35	19
ある程度高まった	4	20
あまり高まらなかった	0	0
全く高まらなかった	0	0



◆積極的に外部発表する大高生

SSH指定3年目の今年度は、本校生徒が積極的にコンテストや発表会など外部へ研究成果を発表するケースが増えてきました。Zoomなどオンラインでの発表は新型肺炎が収束したあとも多く開催されることが予想されます。オンラインによる発表会は時間的・金銭的制約もかなり緩和されます。是非多くの生徒諸君が参加して欲しいと思います。1年生は2・3年生を追い越すように取り組んでいきましょう。

以下に今年度本校生が発表・応募（予定含む）した主な科学研究関連の発表会等を掲載します。

- ・多摩科学技術高等学校発表会（2班3名）
- ・グローバルサイエンティストアワード（1名）
- ・県科学研究発表大会（3班5名：理科部以外も応募可）
- ・長崎大学サイエンスファイト（5班12名）
- ・サイエンスインカレ（1名）
- ・WWL・SGH×探究甲子園（1班2名：文系も可）
- ・奈良女子大学サイエンスコロキウム（3班7名）
- ・CIEC春季カンファレンス（2班4名）
- ・日本物理学会Jr.セッション（1名）
- ・つくばサイエンスエッジ（3/26・27オンライン）